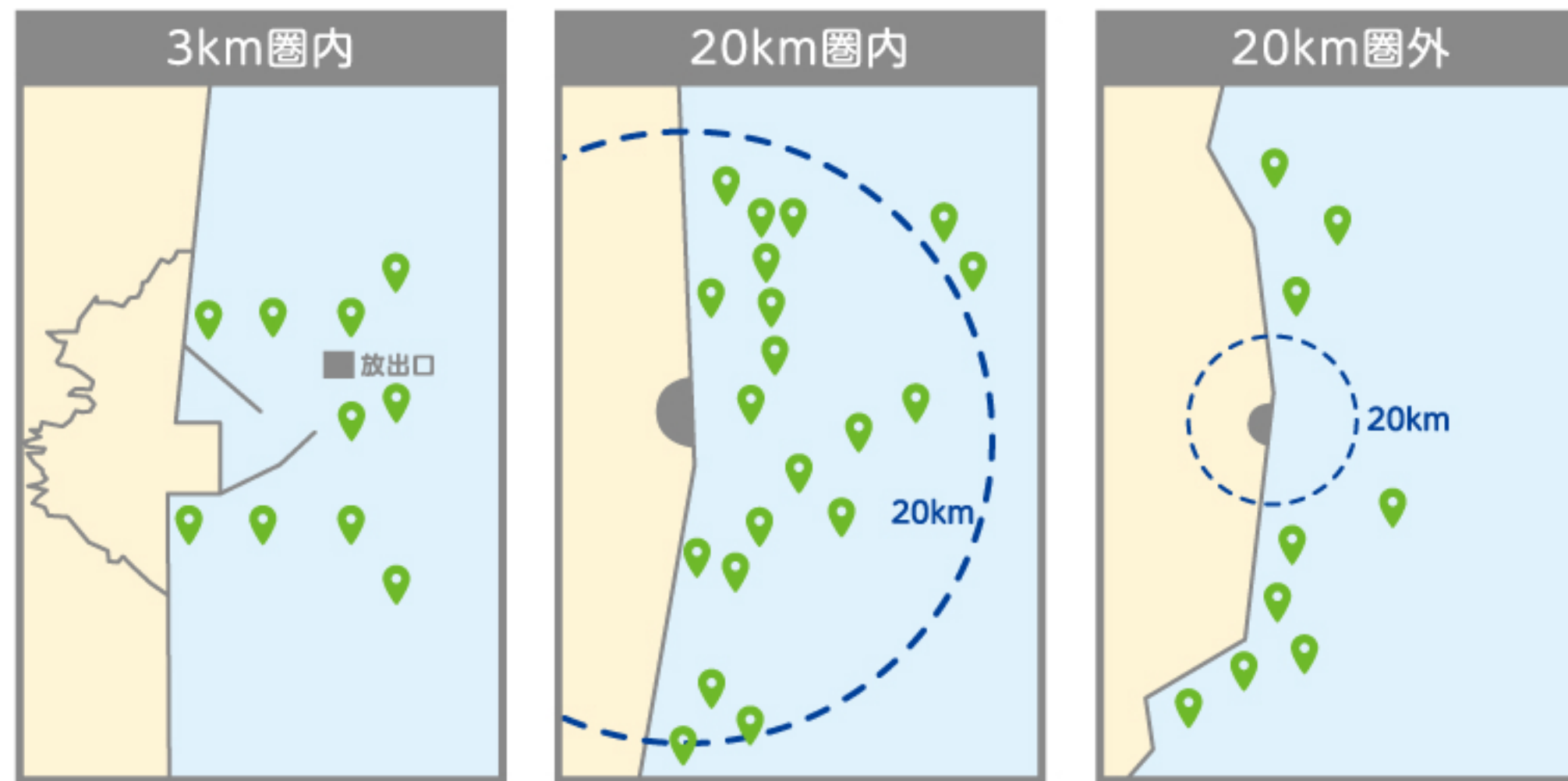


# モニタリングの結果

## 海水のモニタリングポイント

ALPS処理水の海洋放出にあたり、様々な機関が、発電所近傍や福島県沿岸などにて、海洋中のトリチウムを含む放射性物質の濃度を測定しています。



出典:「処理水ポータルサイト 海域モニタリングの結果」(東京電力ホールディングス株式会社) (<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/monitoring/>)をもとに復興庁作成

## モニタリングの状況

モニタリングの結果、海水中のトリチウム濃度はWHOの飲料水水質の指標を大きく下回り、東京電力の指標である700ベクレル/リットル(放出停止判断レベル)や350ベクレル/リットル(調査レベル)を下回っていることがわかります。

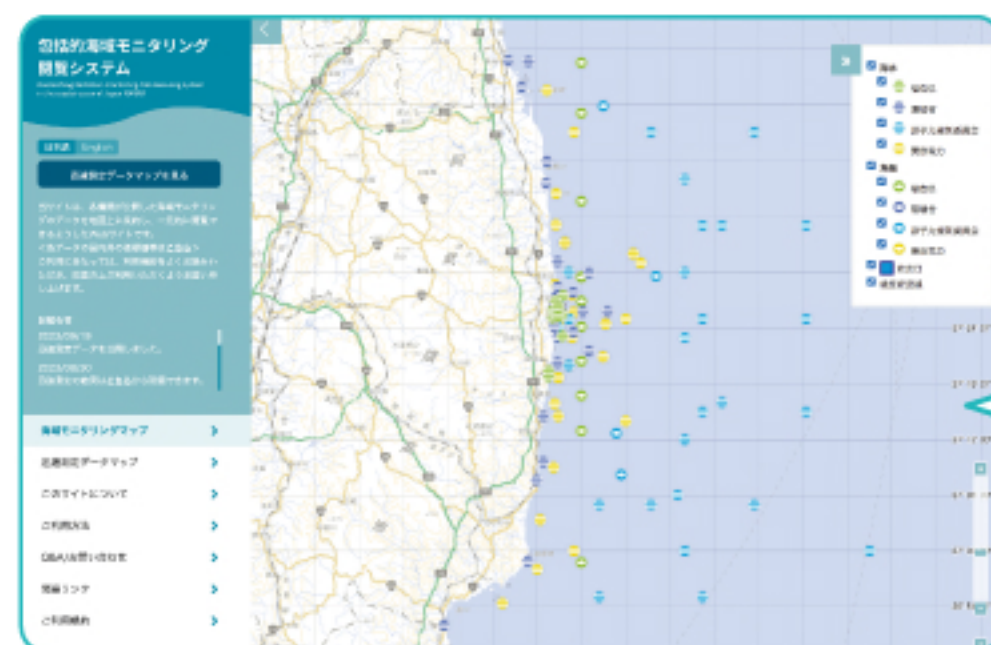
放出後に東京電力が実施した海水のモニタリング結果の最大値

	エリア	海水の測定結果[単位:ベクレル/リットル] (8月24日~9月末までに得られた測定結果の最大値)
トリチウム (迅速測定※)	3km圏内	10
	20km圏内	検出せず(<7.7)
セシウム134	3km圏内	検出せず(<0.96)
	20km圏内	検出せず(<0.00013)
セシウム137	3km圏内	0.98
	20km圏内	0.022

●「<」の右側の数値は検出下限値。検出下限値を下回った場合は、検出せずと記載。  
※トリチウムの検出下限値を1リットルあたり10ベクレル限度とし、測定時間を短縮して迅速に結果を得る測定。

海水のトリチウム濃度の比較[単位:ベクレル/リットル]

60,000	国の規制基準(放水口)
10,000	WHO飲料水水質ガイドライン
1,500	政府方針で示された海洋放出のトリチウム濃度の上限
700	放出停止判断レベル(発電所から3km以内の10地点)
350	調査レベル(発電所から3km以内の10地点)



包括的・海域モニタリング閲覧システムでは様々な機関が行った海水、魚類のモニタリング結果を地図上で確認できます。

詳しくはこちら

東京電力  
処理水ポータルサイト



東京電力  
包括的・海域モニタリング閲覧システム



環境省  
ALPS処理水に係る海域モニタリング情報

